

2025年12月14日 ルカ1:57-80

説教題 「われらの足を平和の道へ導く」

【今日の説教から】

アドベントも第3週。いよいよ来週はクリスマス礼拝です。

ザカリヤは自分の知恵や考えに固執するあまり、神様の尊いご計画を受け入れることが出来ず、大衆の面前で神様の裁きを受けて物言えぬ人となりました。

「ぐうの音も出ない」とはこのことでしょう。彼は起こるはずもないと勝手に決めつけていた妻エリサベツの懐胎を、その膨らみ続けるおなかを見るにつれ、文字通り何も言えずにただ見守っていました。

「人の心には多くの計画がある、しかしただ主の、み旨だけが強く立つ」(箴言 19:21)
主の御旨に従いわが子をヨハネと命名した時、彼に癒しが訪れました。彼は讃美して言いました。

「主なるイスラエルの神は、ほむべきかな。神はその民を顧みてこれをあがない、わたしたちのために救の角を僕ダビデの家にお立てになった…わたしたちを敵から、またすべてわたしたちを憎む者の手から、救い出すため…わたしたちを敵の手から救い出し、
生きている限り、きよく正しく、みまえに恐れなく仕えさせてくださるため」「これはわたしたちの神のあわれみ深いみこころによる。また、そのあわれみによって、日の光が上からわたしたちに臨み、 暗黒と死の陰とに住む者を照し、わたしたちの足を平和の道へ導く」
「わたしに悪しき道のあるかないかを見て、わたしをとこしえの道に導いてください。」主の憐れみによる回復の道に感謝いたします。

序 主の癒しによる回復と召し 「ザカリヤは書板を持ってこさせて、それに「その名はヨハネ」と書いたので、みんなの者は不思議に思った。すると、立ちどころにザカリヤの口が開けて舌がゆるみ、語り出して神をほめたたえた。」

「わたしに悪しき道のあるかないかを見て、わたしをとこしえの道に導いてください。」

「わたしの内に迷いの道があるかどうかを。どうか、わたしをとこしえの道に導いてください。」(新共同訳)

「私のうちに傷のついた道があるか、ないかを見て、私をとこしえの道に導いてください。」(新改訳)

→「71 わたしたちを敵から、またすべてわたしたちを憎む者の手から、救い出すためである。72 こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、73 すなわち、父祖アブラハムにお立てになった誓いをおぼえて、74 わたしたちを敵の手から救い出し、75 生きている限り、きよく正しく、みまえに恐れなく仕えさせてくださるのである。」

詩篇 139:1 主よ、あなたはわたしを探り、わたしを知りつくされました。

139:2 あなたはわがすわるをも、立つをも知り、遠くからわが思いをわきまえられます。

139:3 あなたはわが歩むをも、伏すをも探り出し、わがもろもろの道をことごとく知っておられます。

139:4 わたしの舌に一言もないのに、主よ、あなたはことごとくそれを知られます。

139:5 あなたは後から、前からわたしを囲み、わたしの上にみ手をおかれます。

139:6 このような知識はあまりに不思議で、わたしには思いも及びません。これは高くて達することはできません。

139:7 わたしはどこへ行って、あなたのみたまを離れましょうか。わたしはどこへ行って、あなたのみ前をのがれましょうか。

139:8 わたしが天にのぼっても、あなたはそこにおられます。わたしが陰府に床を設けても、あなたはそこにおられます。

139:9 わたしがあげぼのの翼をかって海のはてに住んでも、

139:10 あなたのみ手はその所でわたしを導き、あなたの右のみ手はわたしをささえられます。

139:11 「やみはわたしをおおい、わたしを囲む光は夜となれ」とわたしが言っても、

139:12 あなたには、やみも暗くはなく、夜も昼のように輝きます。あなたには、やみも光も異なることはありません。

139:13 あなたはわが内臓をつくり、わが母の胎内でわたしを組み立てられました。

139:14 わたしはあなたをほめたたえます。あなたは恐るべく、くすしき方だからです。あなたのみわざはくすしく、あなたは最もよくわたしを知っておられます。

139:15 わたしが隠れた所で造られ、地の深い所でつづり合わされたとき、わたしの骨はあなたに隠れることがなかった。

139:16 あなたの目は、まだできあがらないわたしのからだを見られた。わたしのためにつくられたわがよわいの日の／まだ一日もなかったとき、その日はことごとくあなたの書にしるされた。

139:17 神よ、あなたのもろもろのみ思いは、なんとわたしに尊いことでしょう。その全体はなんと広大なことでしょう。

139:18 わたしがこれを数えようとすれば、その数は砂よりも多い。わたしが目ざめるとき、わたしはなおあなたと共にいます。

139:19 神よ、どうか悪しき者を殺してください。血を流す者をわたしから離れ去らせてください。

139:20 彼らは敵意をもってあなたをあなどり、あなたに逆らって高ぶり、悪を行う人々です。

139:21 主よ、わたしはあなたを憎む者を憎み、あなたに逆らって起り立つ者を／いとうで

はありませんか。

139:22 わたしは全く彼らを憎み、彼らをわたしの敵とします。

139:23 神よ、どうか、わたしを探って、わが心を知り、わたしを試みて、わがもろもろの
思いを／知ってください。

139:24 わたしに悪しき道のあるかないかを見て、わたしをとしえの道に導いてくださ
い。

箴言 19:20 勧めを聞き、教訓をうけよ、そうすれば、ついには知恵ある者となる。

19:21 人の心には多くの計画がある、しかしただ主の、み旨だけが強く立つ。

19:22 人に望ましいのは、いつくしみ深いことである、貧しい人は偽りをいう人にまさる。

19:23 主を恐れることは人を命に至らせ、常に飽き足りて、災にあうことはない。

アドベントのろうそくもついに3本目。いよいよ来週はクリスマス礼拝です。

今まで私たちは主を待ち望むこのアドベントの時、恐れなく信じて主の御言葉にすべてを
お委ねすることの素晴らしさを聖書から再び学んでまいりました。

1:28 御使がマリヤのところにきて言った、「恵まれた女よ、おめでとう、主があなたと共に
おられます」。

1:30 すると御使が言った、「恐れるな、マリヤよ、あなたは神から恵みをいただいているの
です。

1:31 見よ、あなたはみごもって男の子を産むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。

1:34 そこでマリヤは御使に言った、「どうして、そんな事があり得ましょうか。わたしには
まだ夫がありませんのに」。

1:35 御使が答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでし
ょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう。

1:36 あなたの親族エリサベツも老年ながら子を宿しています。不妊の女といわれていたの
に、はや六か月になっています。

1:37 神には、なんでもできないことはありません」。

1:45 主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょ
う」。

1:46 するとマリヤは言った、「わたしの魂は主をあがめ、

1:47 わたしの霊は救主なる神をたたえます。

1:48 この卑しい女をさえ、心にかけてくださいました。今からのち代々の人々は、わたし

をさいわいな女と言うでしょう、

1:49 力あるかたが、わたしに大きな事をしてくださったからです。そのみ名はきよく、

1:50 そのあわれみは、代々限りなく／主をかしこみ恐れる者に及びます。

1:51 主はみ腕をもって力をふるい、心の思いのおごり高ぶる者を追い散らし、

1:52 権力ある者を王座から引きおろし、卑しい者を引き上げ、

1:53 飢えている者を良いもので飽かせ、富んでいる者を空腹のまま帰らせなさいます。

1:54 主は、あわれみをお忘れにならず、その僕イスラエルを助けてくださいました、

1:55 わたしたちの父祖アブラハムとその子孫とを／とこしえにあわれむと約束なさったとおりに」。

神様が共にいてくださいますその生涯に召されている人は、何と幸いでしょう。神様がその御腕を持ってお導きくださいますその人は、何と幸いでしょう。

しかし私たちはなかなか手放しにその神様のご領域のお話についていくことが出来ないことがあります。自分の理解が及ばなかったり、自分の思いが神様の御思いを心から締め出したり、強情で堅固な自分の自我が神様の尊い思いを心から締め出して、私たちは自分が変わることを拒絶しようとするのです。しかし神様のお導きには間違いがありません。私たちの道は時に誤り、悪しきに堕して、傷がありますが、神様のご計画は固く立ちます。

詩篇 139:24

「わたしに悪しき道のあるかないかを見て、わたしをとこしえの道に導いてください。」

「わたしの内に迷いの道があるかどうかを。どうか、わたしをとこしえの道に導いてください。」(新共同訳)

「私のうちに傷のついた道があるか、ないかを見て、私をとこしえの道に導いてください。」(新改訳)

箴言 19:20 勧めを聞き、教訓をうけよ、そうすれば、ついには知恵ある者となる。

19:21 人の心には多くの計画がある、しかしただ主の、み旨だけが堅く立つ。

私たちはしばしば道を誤りますが、主は回復の道を与えてくださいます。赦しと憐れみに満ちた神様の慈しみと回復のお導きに感謝いたします。

1:57 さてエリサベツは月が満ちて、男の子を産んだ。

1:58 近所の人々や親族は、主が大きなあわれみを彼女におかけになったことを聞いて、共に喜んで。

1:59 八日目になったので、幼な子に割礼をするために人々がきて、父の名にちなんでザカリヤという名にしようとした。

1:60 ところが、母親は、「いいえ、ヨハネという名にしなくてははいけません」と言った。

1:61 人々は、「あなたの親族の中には、そういう名のついた者は、ひとりもいません」と彼女に言った。

1:62 そして父親に、どんな名にしたいのですかと、合図で尋ねた。

さてザカリヤの時がやってきました。彼は今度こそ神様のお導きの通りに決断することが出来るのでしょうか。

1:63 ザカリヤは書板を持ってこさせて、それに「その名はヨハネ」と書いたので、みんなの者は不思議に思った。

1:64 すると、立ちどころにザカリヤの口が開けて舌がゆるみ、語り出して神をほめたたえた。

1:65 近所の人々はみな恐れをいだき、またユダヤの山里の至るところに、これらの事がとごとく語り伝えられたので、

1:66 聞く者たちは皆それを心に留めて、「この子は、いったい、どんな者になるだろう」と語り合った。主のみ手が彼と共にあった。

主に任命された祭司でありながら主の御心に生きることの出来なかったザカリヤ。大失敗を犯し、神と人との間を取り持つ祭司でありながら彼の心の中が神様からいかに離れているかを示された彼にとって物言えぬつらい時期が続きましたが、また彼が神様の御心に従おうとしたその時、彼に癒しと回復、解放の時が訪れました。

彼がその子の名をヨハネと名付けると宣言してから直ちに。彼の口は開かれ、癒され、修復され、彼は物が言えるようになりました。祭司でありながら神と人とを取り持つ言葉が何一つ語れなくなった彼に、その御用にはもはや何一つ携われなくなった彼に、回復の時が訪れました。

私たちのアドベント、私たちのクリスマスのメッセージ、それはこの上もない喜びの訪れ、神様の憐れみの現れです。

1:67 父ザカリヤは聖霊に満たされ、預言して言った、

1:68 「主なるイスラエルの神は、ほむべきかな。神はその民を顧みてこれをあがない、

1:69 わたしたちのために救の角を／僕ダビデの家にお立てになった。

1:70 古くから、聖なる預言者たちの口によってお語りになったように、

1:71 わたしたちを敵から、またすべてわたしたちを憎む者の手から、救い出すためである。
1:72 こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、
1:73 すなわち、父祖アブラハムにお立てになった誓いをおぼえて、
1:74 わたしたちを敵の手から救い出し、
1:75 生きている限り、きよく正しく、みまえに恐れなく仕えさせてくださるのである。

贖いと救い。救いの角。これか堅固な救いです。堅い、力強い救いです。勝利して勝ち誇る主の御力の現れです。

「わたしたちを敵から、またすべてわたしたちを憎む者の手から、救い出すため」。
悪魔は巧みに私たちに働きかけ、道を外れ、落伍し、さ迷い、もう元には二度とは戻れない
と思い込ませますが、しかしそうではありません。

1:72 こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、
1:73 すなわち、父祖アブラハムにお立てになった誓いをおぼえて、
1:74 わたしたちを敵の手から救い出し、
1:75 生きている限り、きよく正しく、みまえに恐れなく仕えさせてくださるのである。

主はあわれみのお方。主は贖い主。御子による大きな犠牲をもって私たちのために贖いを成し、私たちに戦いを仕掛ける魔の手から私たちを救い出し、生涯の長きにおいて、主の憐れみにより、贖いにより、その時その時癒されて、敵の魔の手にあっても恐れなく、神様の前に、きよく、正しく、礼拝し、仕えることが出来るのです。

1 ヨハネ 3:16 主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。

3:17 世の富を持っていながら、兄弟が困っているのを見て、あわれみの心を閉じる者には、どうして神の愛が、彼のうちにあるのか。

3:18 子たちよ。わたしたちは言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実とをもって愛し合おうではないか。

3:19 それによって、わたしたちが真理から出たものであることがわかる。そして、神のみまえに心を安んじていよう。

3:20 なぜなら、たとえわたしたちの心に責められるようなことがあっても、神はわたしたちの心よりも大いなるかたであって、すべてをご存じだからである。

3:21 愛する者たちよ。もし心に責められるようなことがなければ、わたしたちは神に対して確信を持つことができる。

3:22 そして、願い求めるものは、なんでもいただけるのである。それは、わたしたちが神の戒めを守り、みこころにかなうことを、行っているからである。

3:23 その戒めというのは、神の子イエス・キリストの御名を信じ、わたしたちに命じられたように、互に愛し合うべきことである。

3:24 神の戒めを守る人は、神におり、神もまたその人にいます。そして、神がわたしたちのうちにいますことは、神がわたしたちに賜った御霊によって知るのである。

1:76 幼な子よ、あなたは、いと高き者の預言者と呼ばれるであろう。主のみまえに先立って行き、その道を備え、

1:77 罪のゆるしによる救を／その民に知らせるのであるから。

1:78 これはわたしたちの神のあわれみ深いみこころによる。また、そのあわれみによって、日の光が上からわたしたちに臨み、

1:79 暗黒と死の陰とに住む者を照し、わたしたちの足を平和の道へ導くであろう」。

ここに道があります。罪の赦しによる救いがあります。時が遅いということはありません。どうして私たちはなおも「暗黒と死の陰とに住む」ことが出来るのでしょうか。罪と邪惡の暗闇をわが住みかとして生きる人があります。正も邪もまぜこぜにしている人があります。しかし私たちはそうではありません。私たちはとこしえの道へと導かれているのです。

2 コリント

6:1 わたしたちはまた、神と共に働く者として、あなたがたに勧める。神の恵みをいたずらに受けてはならない。

6:2 神はこう言われる、／「わたしは、恵みの時にあなたの願いを聞きいれ、／救の日にあなたを助けた」。見よ、今は恵みの時、見よ、今は救の日である。

6:3 この務がそしりを招かないために、わたしたちはどんな事にも、人につまずきを与えないようにし、

6:4 かえって、あらゆる場合に、神の僕として、自分を人々にあらわしている。すなわち、極度の忍苦にも、患難にも、危機にも、行き詰まりにも、

6:5 むち打たれることにも、入獄にも、騒乱にも、労苦にも、徹夜にも、飢餓にも、

6:6 真実と知識と寛容と、慈愛と聖霊と偽りのない愛と、

6:7 真理の言葉と神の力とにより、左右に持っている義の武器により、

6:8 ほめられても、そしられても、悪評を受けても、好評を博しても、神の僕として自分

をあらわしている。わたしたちは、人を惑わしているようであるが、しかも真実であり、
6:9 人に知られていないようであるが、認められ、死にかかっているようであるが、見よ、生きており、懲らしめられているようであるが、殺されず、
6:10 悲しんでいるようであるが、常に喜んでおり、貧しいようであるが、多くの人を富ませ、何も持たないようであるが、すべての物を持っている。

ローマ 5:1 このように、わたしたちは、信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストにより、神に対して平和を得ている。

5:2 わたしたちは、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあずかる希望をもって喜んでいる。

5:3 それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、

5:4 忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。

5:5 そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。

5:6 わたしたちがまだ弱かったころ、キリストは、時いたって、不信心な者たちのために死んで下さったのである。

5:7 正しい人のために死ぬ者は、ほとんどいないであろう。善人のためには、進んで死ぬ者もあるいはいるであろう。

5:8 しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。

5:9 わたしたちは、キリストの血によって今は義とされているのだから、なおさら、彼によって神の怒りから救われるであろう。

5:10 もし、わたしたちが敵であった時でさえ、御子の死によって神との和解を受けたとすれば、和解を受けている今は、なおさら、彼のいのちによって救われるであろう。

5:11 そればかりではなく、わたしたちは、今や和解を得させて下さったわたしたちの主イエス・キリストによって、神を喜ぶのである。

このアドベントの時。私たちは何でも可能にお出来になられる方が、あわれみ深く、赦しにとんだ方であることをもう一度味わいました。この時こそ主の憐れみにより、光の中に躍り出て、喜びと祝福の光に照らされて堂々と許されて生きる道に生きたいと思います。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。ザカリアへの神様

の赦しと癒しの回復をありがとうございます。私たちの歩みも時に自我が勝って安定を欠き、委ねる気持ちが薄れ、暗闇の影が差すこともあります。あなたはあけぼのの光をもって夜明けを告げ、私たちを導き返して光と命と平安と平和の中へと導いてくださいますからありがとうございます。あなたの憐れみと赦しに感謝いたします。あらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン